



# 自閉スペクトラム症及び強度行動障がい 児者の地域生活を考えるシンポジウム

を開催します

本市では、「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を制定し、すべての市民が暮らしやすい街の実現を目指しています。強度行動障がいの状態像にあり、様々な生きづらさを抱えながら地域で生活されている方々とその家族が安心して暮らせる環境を整えるため、「強度行動障がい者（児）支援職員育成事業」を実施しています。

この度、次のとおりシンポジウムを開催しますのでお知らせします。取材・広報にご協力いただきたくお願い申し上げます。

## 1 事業名

令和6年度自閉スペクトラム症及び強度行動障がい児者の  
地域生活を考えるシンポジウム  
～支援のポイントと環境へのアプローチ～

## 2 開催日時

令和7年2月8日(土) 14:00～16:20(開場 13:30～)

## 3 会場

新潟市江南区文化会館 音楽演劇ホール  
新潟市江南区茅野山3丁目1番14号

## 4 内容

別添チラシを参照ください。

## 5 参加者

市内の障がい福祉サービス事業所の職員、学校の教職員など100名(予定)

## 6 その他

強度行動障がいとは・・・

強度行動障害とは、自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「状態」である。強度行動障害にはさまざまな状態像が含まれているが、強い自傷や他害、破壊などの激しい行動を示すのは重度・最重度の知的障害を伴う自閉スペクトラム症の方が多く、自閉スペクトラム症と強度行動障害は関連性が高いと言われている。(厚生労働省)

# 令和6年度 自閉スペクトラム症及び 強度行動障がい児者の 地域生活を考えるシンポジウム

強度行動障がいの状態像にある方を支援しているすべての人へおくる  
～支援のポイントと環境へのアプローチ～

## 講師紹介



講師 有川 宏幸 氏

新潟大学教育学部 教授  
公認心理師  
臨床発達心理士  
特別支援学校教員養成の傍ら、  
共生社会の実現に向けた社会  
活動にも積極的に取り組む。



実践報告者 大澤 紀樹 氏

社会福祉法人新潟太陽福祉会  
自閉症総合支援センター センター長  
新潟市強度行動障がい支援マネジャー  
新潟県発達障害地域支援マネジャー  
新潟県強度行動障害支援者養成研修 メイン講師

自閉スペクトラム症と  
強度行動障がいは何がちがうの？

障がい特性って何？

環境調整って何？

行動分析って何？

困った行動には理由がある!!!

日時

令和7年2月8日(土)

14:00～16:20(開場13:30～)

会場

新潟市江南区文化会館 音楽演劇ホール

新潟市江南区茅野山3丁目1番14号

対象

障がい福祉サービス事業所の職員  
学校の教職員の方 新潟市民の方

お申込み

新潟市オンライン申請システムより申込をお願いいたします。  
令和7年1月24日(金) 17:00 締切

参加費  
無 料

申込みはこちらから



<https://lgpos.task-asp.net/cu/151009/ea/residents/procedures/apply/6f43b705-43cb-44ad-af7f-ecb01aac0f94/start>

主催：新潟市福祉部障がい福祉課

お問い合わせ先  
新潟市福祉部障がい福祉課  
指定係(担当 石井)  
電話 025-226-1241  
E-mail : shogai.wl@city.niigata.lg.jp

## 開催趣旨

強度行動障がいに関しては、長年の研究と実践により、全国的に包括的な取り組みが知られるようになってきました。新潟市においても市独自事業として「強度行動障がい者(児)支援職員育成事業」を実施して参りました。

本シンポジウムでは昨年に引き続き、新潟市の取組を紹介するとともに、支援のポイントを講師の方々から学び、実際の支援現場において「何から始め」取り組んでいけばいいのかを講師と共に考えて参ります。

保育、教育、支援に携わるの方々だけでなく、市民の皆様の幅広いご参加をお待ちしております。

## プログラム

14:00 開会

14:10～ シンポジウム

強度行動障がいの状態像にある方を支援しているすべての人へおくる  
～支援のポイントと環境へのアプローチとは～

### ■コンサルテーション実践報告

報告者 大澤 紀樹氏

社会福祉法人新潟太陽福祉会 自閉症総合支援センターたいよう  
新潟市強度行動障がい支援マネジャー

### ■放課後等デイサービスにおける児童期支援の再考 ～コンサルテーションを受けて…～

報告者 嵐山 繭子氏

放課後等デイサービスPiapupuスポーツ  
児童発達支援管理責任者

■助言者 有川 宏幸氏 新潟大学教育学部 教授

■進行 細井 聡仁氏 社会福祉法人新潟太陽福祉会



16:20 閉会

